

The NARA Physical Therapy Association News 奈良県理学療法士会ニュース

第136号

平成24年7月25日発行

発行：奈良県理学療法士会ニュース編集部

編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科

発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1

事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内

編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）

ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

巻頭言	2
論文投稿のお願い	3
生涯学習部からお知らせ	3
専門領域勉強会管理委員会よりお知らせ	4
平成23年度 第4回研修会	5
平成24年度 第1回研修会	6
『認知症高齢者に対するコミュニケーションスキル』の講演会に参加して	7
第1回理学療法川柳 入選作品	8
新人歓迎会感想記	9
大阪城リレーマラソン感想記	10
平成23年度第10回定例(拡大)理事会議事録	11
平成24年度第1回定例理事会議事録	16
賛助会員一覧・会員数・施設数動向	19

巻 頭 言



「なりたい職業ランキング! 理学療法士は?」

中村 貴信

4月の診療報酬および介護報酬の改正から3か月が過ぎました。会員の皆さんも様々な対応に追われ、ようやく落ち着きを取り戻したのではないのでしょうか。

また、理学療法士として歩み始めた「新人」の皆さまにとっても、「社会人として、理学療法士として」走り出した3か月間をようやく振り返る余裕を持ち、落ち着いてこられたのではないのでしょうか。

理学療法士として歩み始めた会員の皆さまがそうであったように、理学療法士は魅力のある「なりたい!希望する職業」としてあり続けているのだろうか。この時期になるとよく考えます。

そこで「中学生や高校生がなりたい、また希望する職業として理学療法士はどうか」調べたところ、多くの「注目の資格ランキング」や「将来有望な職業(資格)順位」等がある中から2つのアンケート調査に注目しました。1つは株式会社日本ドリコムが高校2年生を対象に毎年実施している「高校生の希望する職業ランキング」と中学1年生を対象にしている「13歳のハローワーク(公式サイト)」です。

高校生の希望する職業ランキング(2011年12月発表)では、第1位「教師」第2位「保育士・幼稚園教諭」第3位「看護師」とあり、理学療法士は「第7位」に入り、前年度18位からランクアップしています。また女子のみのランキングでは4位に入り、前年度38位からジャンプアップしています。日本ドリコムではこの現状を「4位理学療法士は、高齢社会による需要の高さと国家試験合格率の高さが評価されたものと思われる。昨年から大幅にランクアップしている。ただこの業界も有資格者の急増を危惧する状況となり、今後作業療法士、言語聴覚士との業務領域の整備など課題が出てくると考えられる」と解説しています。

13歳のハローワークの人気職業ランキング(2012年5月1日～5月31日)では、41位となっています。2012年1月に調べた時は71位であり、確認時期は不定期(毎月更新している)ですが常時100位以内をキープしている印象があります。このサイトが514の職業を紹介していることから上位にランキングされていると思っています。余談になりますが、気になる第1位は「ナニー」という職業で、第2位「パティシエ」第3位は「植木職人」です。ナニーという職業を皆さんご存知ですか。私は知りませんでした…。

皆さんが「理学療法士になりたい!」と志望した理由は何でしたか。「家族や知人もしくはご本人が理学療法士に出会い、治療や相談等を経験したことがきっかけ」という方が多いと聞きます。上記のように「有資格者の急増を危惧する状況」とみる風潮があることは事実かと思います。しかし、理学療法士が多くの患者さま・利用者さまと出会うことで「理学療法士を知らない方々に興味や関心」を持ってもらうチャンスも急増することも事実かと思います。

多くの方に「理学療法士になりたい」と思ってもらえるように、また会員の皆さんが自信を持って理学療法士をアピールできるように活動してまいりたいと考えています。

そんな大それたことを思いながら、インターネットで「注目 職業 ランキング」や「将来 有望 資格 順位」などと検索しながら、その順位・ランキングに一喜一憂しています。

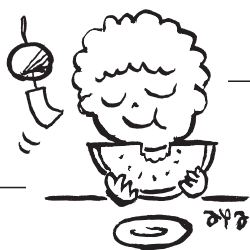
論文投稿のお願い

奈良県理学療法士会
学術誌部 松尾 篤

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

「奈良県理学療法学」への論文投稿のお願いです。今年度の予定は、いつも年度終盤に発行していましたが、少し早めて1月頃には発行したいと考えております。現在のところ、投稿論文は0（ゼロ）件です。

ところで、実は前回の士会ニュースには論文投稿のお願いを掲載しませんでした。みなさまお気づきでしたでしょうか？たぶん気づかれた方は少ないでしょうね。案内をいつも掲載する条件とたまに掲載する条件で比較した場合に、論文投稿数に差がみられるかどうか…なんてことを思ったりしていますが、これが疑問を解決する方法ですね。そうです、研究のはじまりになります。理学療法の臨床でもそうです。いつも同じ治療方法、慣習的に実施している評価や治療などの「真の効果」は何か、本当に最良の治療（対策）を実施しているかを吟味するためには、このような考え方が必要になります。みなさまも是非、少し工夫をしながら普段の自分を見つめ直すと、新しい発見があるかもしれません。それらの成果を論文にまとめてはどうでしょうか。みなさまの論文投稿を心待ちにしております。



生涯学習部から

お知らせ

●新人教育プログラムセミナーについて

平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。修了に必要な履修単位数が18単位から15単位となり、修了年限は3年以上から1年以上に変更されています（最短1年で修了申請が可能）。また症例発表の必須化は廃止されました。

詳しくは昨年12月のJPTA NEWS（274、276号）をご参照ください。協会ホームページより閲覧できます。また新人教育プログラム未修了の会員の方々は、協会ホームページよりログインするマイページにて履修状況を確認の上、今後開催されるセミナー・研修会にご参加ください。

本年度の新人教育プログラムセミナーは、第1回が6月（終了）、第2回が8－9月、第3回が12－1月、第4回が2－3月に開催予定です。日程・テーマが決まり次第、奈良県士会ホームページなどで告知しますので、ご確認ください。

専門領域勉強会管理委員会よりお知らせ

現在6つの専門領域勉強会が活動しています。各勉強会の詳細につきましては勉強会代表者までお問い合わせ下さい。また、本年度も各勉強会が担当する形で実施される県士会主催の研修会も予定しています。ふるってご参加下さい。

呼吸器循環器系勉強会（登録番号001）

代表者氏名：田平 一行

代表者所属：畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号：0745-54-1601

連絡先e-mailアドレス：k.tabira@kio.ac.jp

奈良整形外科リハビリテーション勉強会（登録番号002）

代表者氏名：榮崎 彰秀

代表者所属：奈良西部病院 リハビリテーション科

〒631-0061 奈良市三碓町2143-1

連絡先電話番号：0742-51-8700（奈良西部病院）

連絡先e-mailアドレス：narahokuwaseikeigekareha@yahoo.co.jp

発達障害児・者勉強会（登録番号003）

代表者氏名：古川 智子

代表者所属：関西学研医療福祉学院

〒631-0805 奈良市右京1丁目1-5

連絡先電話番号：0742-72-0600

連絡先e-mailアドレス：angel_satopo@yahoo.co.jp

3学会合同呼吸療法認定士取得に向けた勉強会（登録番号004）

代表者氏名：坂本 雅尚

代表者所属：平成記念病院

〒634-0813 奈良県橿原市四条町827番地

連絡先電話番号：0744-29-3300

連絡先e-mailアドレス：mgkx34482@leto.eonet.ne.jp

スポーツ理学療法勉強会（登録番号005）

代表者氏名：福本 貴彦

代表者所属：畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号：0745-54-1601（内線5073）

連絡先e-mailアドレス：t.fukumoto@kio.ac.jp

健康増進・疾病予防・障害予防勉強会（登録番号006）

代表者氏名：瓜谷 大輔

代表者所属：畿央大学

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

連絡先電話番号：0745-54-1601

連絡先e-mailアドレス：d.uritani@kio.ac.jp

委員会では随時勉強会グループを募集しています。“現在定期的に勉強会を行っている”という会員の方はもちろん、“会員に向けて情報発信をしたい”、“少人数でも勉強会を始めたかったけれど方法が分からなかった”など課題をお持ちであった会員の方も、一度委員会に問い合わせ頂きますようお願いいたします。

(問い合わせ先)

畿央大学健康科学部理学療法学科 田平一行

電話：0745-54-1601

e-mail：k.tabira@kio.ac.jp

平成23年度 第4回研修会

日時：平成24年3月23日（金）

テーマ：FIMを用いた脳卒中患者の予後予測

講師：小林 功先生（阪奈中央病院）

参加人数：会員43人、非会員1人、計44人



～印象記～

平成24年3月23日、いかるがホールにて平成23年度第4回研修会が開催されました。年度末の忙しい時期にもかかわらず、多くの方の参加をいただきました。

今回は、医療法人和幸会阪奈中央病院理学療法士の小林功先生をお招きし、「FIMを用いた脳血管障害者の予後予測」というテーマで、講義をしていただきました。

脳卒中ガイドラインでも推奨されているように、機能予後や転帰先を予測し、参考にしながらリハビリテーションプログラムを実施していくことが重要です。現在、急性期では在院日数が短期化し、また回復期では算定日数の上限が定められているなかで、より適切な予後予測やゴール設定が私たち理学療法士に求められていると思います。特に回復期病棟では、入院時に予後予測をし、退院時期やゴール設定をした上で理学療法を開始すれば、より適切で集中的なリハビリテーションが提供でき、早期退院、社会復帰へとつなげることができると思います。また、小山による予後予測を利用すれば、中間評価において、実際の回復と予測された回復曲線を比較し、訓練効果やプログラムの妥当性を検討することも可能だと思います。

私の勤務する病院では、入院時より1ヶ月ごとに、FIMを用いて患者さんのADLを評価しています。今回紹介していただいた予後予測の方法を今後ぜひ利用していければと考えています。

最後になりましたが、大変お忙しい中ご講義いただきました小林先生に深くお礼を申し上げます。

（研修部 上山美樹）

平成24年度 第1回研修会

日 時：平成24年6月10（日）

テーマ：リハビリテーションにおける栄養

講 師：林 京子先生（畿央大学 健康科学部 健康栄養学科）

参加人数：会員35人、他府県会員1人、非会員1人 計37人



～印象記～

今回の研修会では畿央大学健康科学部健康栄養学科の林京子先生をお招きして、「リハビリテーションにおける栄養」というテーマで講義していただきました。

今回のテーマは日頃臨床で、運動と栄養の関係について疑問に考えておられる先生が多数参加され、経験年数的に高めの研修会となりました。日頃体力面について疑問に思っていたことが先生の講義を聞いて栄養学的に説明され、非常に納得できることが多かったのではないのでしょうか。

私自身としては、『高度の侵襲が生体に加わると、タンパク分解が亢進する』こと、『筋肉はタンパク質の重要な貯蔵庫であり、特に侵襲下では血漿アミノ酸の供給に利用される』ことなどは、癌や手術後の患者様の臨床像を非常によく表していると感じるところでありました。

またスペインからの報告によると入院患者の80%以上が何らかの栄養障害状態にあったということでした。日本においても何らかの栄養障害を持っている方は想像以上に多いのかもしれない、まずそこに気付くことが大事であると再認識いたしました。

いうまでもなく、理学療法はチーム医療やチームケアの一翼を担っているかと思います。そのチームの中で他職種がどういうことを目指して、また考えて活動しているのかを知ることは、私たちがどういった理学療法を行うべきかを示しているのではと改めて考えさせられる研修会でした。

最後になりましたが、お忙しい中御講義いただきました林先生に深く御礼申し上げます。

（研修部 川畑昌俊）

『認知症高齢者に対するコミュニケーションスキル』の講演会に参加して

介護老人保健施設 アップル学園前 診療部 重 めぐみ

先日、オークピア鹿芝の古川 佳要子先生から認知症高齢者とのコミュニケーション法についてのお話をお聞かせ頂きました。

現在、私は介護老人保健施設で理学療法士として、高齢者の方々と関わる仕事をしています。認知症だからという括りではなく、人と接していく仕事は非常に難しく、毎日の利用者様とのコミュニケーションをどの様に築いていくのが良いのか、常に悩んでいます。

古川先生のお話の中にもありましたが、気持ちに寄り添う関わりであったり、同感（相手の気持ちがわかる）であったり、言葉では理解出来るのですが、いざ実践となると今も尚難しく、毎日が勉強であると感じます。

私の担当する利用者様にも、古川先生がお話されていたような『過去にやり残してきた事がある』方がいらっやいます。その方もお母さんに対してやり残してきた事がある様で、時折見せる涙にはお母さんへの感情が多く含まれている様な気がします。

毎日関わらせて頂く中で、利用者様の世界に私も入り込める様にと、自分の感情を脇に置き利用者様との共感をめざす（センタリング）を試みっていますが、凄く難しく、利用者様を理解するにはかなりの時間がかかると思います。ですが、これからも日々努力し、相手の気持ちにより添える理学療法士になりたいと思います。

とても貴重なお話が聞けた事を感謝しております。ありがとうございました。



第1回理学療法川柳 入選作品

【最優秀賞】

● リハビリは 心身共の 栄養素 (田原本町 女性)

【会長賞】

● リハビリの 家の先生(娘) しごきすぎ (奈良市 女性)

【佳作】

● いそいそと リハビリへ行く 朝至福 (大和郡山市 男性)	● 年老いて まだかまだかと 心待ち (宇陀市 女性)
● 立ち止まる ことも人生 杖ついて (生駒市 男性)	● 励まされ 支えられて いま感謝 (大阪市 男性)
● リハビリを 受けられた日は 息平和 (奈良市 女性)	● 共に歩き 希望をくれる セラピスト (橿原市 女性)
● 折れそうな 心を支え あう仲間 (橿原市 女性)	● 車椅子 はなれて歩く 夢を持つ (奈良市 女性)
● 動きたい(体) 思いも支える リハビリや (天理市 男性)	● リハビリに 足腰ゆだね 今日を生く (田原本町 女性)

応募総数 63首

新人歓迎会感想記

奈良県立奈良病院 佐々木はるな

先日はお忙しい中、新人教育プログラム・新人歓迎会を開催して頂き、ありがとうございました。

新人プログラム研修会では、理学療法と倫理について学びました。理学療法士という専門職であることの意味や、職業に対する基本姿勢、患者様に安心して治療を受けていただくために大切なことなどを知ることができました。また、理学療法士協会という組織や生涯学習システムを教えて頂くことで、自分が大きな団体の一員であることを自覚しました。それとともに、患者様のために知識を増やして技術を磨き、日々精進しようと改めて強く思いました。

奈良県士会は他府県に比べて会員数が少なくアットホームな雰囲気、悩み事などを諸先輩方に相談しやすい印象を受けました。これは、まだ右も左も分からない私たち新人にとって、とても恵まれた環境であると感じました。

歓迎会では、和やかな雰囲気の中でたくさんの新人の先生方と話をすることができました。今年は約100人もいるということで、横の繋がりも大切にしてお互いに切磋琢磨し、成長していきたいと思います。

今回、このような交流の場を設けていただいたことに深く感謝申し上げます。これから、諸先輩方と同じ方向を向いて歩いていけるように、新人一同、勉学や業務に励みます。本当にありがとうございました。



大阪城リレーマラソン感想記

社会福祉法人 恩賜財団 済生会中和病院
常森 周一

2012年3月20日大阪城リレーマラソンが開催され、そこに奈良県理学療法士会チームのメンバーの一人として参加させていただきました。安土桃山時代から江戸時代の城で別名は金城あるいは錦城とよばれる歴史のドラマを今に伝える天守閣が大空に雄姿を見せる大阪城公園で行われました。リレーマラソンとは一人で走りきるマラソンとは異なり、一人2km以上を4人以上21人以内で42.195kmを走るというものです。参加チームは618チームでとても賑わっていました。中にはとても個性的なチームもあり様々な仮装している人がたくさんいて見るだけでも楽しい気分になりました。

レースはスタートしタイムは気にしないと思いつつも気になってしまいました。他のチームはというとタイムを争う本格的な「ガチ」なチーム、走ることを楽しむために参加したチーム、仮装で楽しませてくれる、目立つチームなどいろんなチームがありました。参加チームが多いので走っている時は今何位なのかはわからないのですが、何人かは抜いたが何人かには抜かれたので順位は変わらないかなと考えながら走っていましたが、徐々に疲れてくるとそんな余裕もなくなり自分のペースもわからなくなりました。ですが、タスキは自分一人のものではないと思い、タスキをつなぐことだけを考え走りました。個人のみではなくチームの為と思えば、いつも以上の力が発揮できます。先輩方の運動能力の高さを見させてもらったり、仕事以外の一面を見ることができたり、さらに普段接することの少ない他の病院の方たちと交流することによって新たなつながりができ、また情報を交換することができてとても有意義な時間でした。途中心肺停止になり救急車で運ばれる人もいて驚きましたが、私たちのチームはみんな怪我なく終えることができてよかったです。ゴールした瞬間は達成感で溢れました。

結果は618チーム中79位で3時間6分15秒。意外と順位が上の方だったので驚きでした。みんなで一つのタスキをつなぎ、走っていない人も応援やサポートをしてくれて本当にひとつになれた感じがしました。ちなみに仮装での表彰もあり、きゃりーぱみゅぱみゅのチームが表彰されていました。

次回の大会ではどんな成績が残せるか今から楽しみです



平成23年度第10回定例(拡大)理事会議事録

日 時：平成24年2月19日（日） 午前10：08～13：45
午後14：30～17：10

場 所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事：尾崎、石橋、増田、松村、西田、廣池、
田平、中西
部長・委員長：吉田、布上、細川、江村、櫻
井、榮崎、岡本、徳久、河村、
栗本、堀口、堀内、小川、福
本、中野

監 事：北村、中俣

議事録署名人：増田、廣池

委任状：佐藤、中村

書 記：中野、辰巳

- 議 事：1. 各局・部・委員会23年度事業報告
2. 各部・委員会24年度事業計画案
3. 23年度決算報告（現状）
4. 24年度予算案報告
5. 24年度予算案審議
6. 会長行動報告
7. 会員異動承認
8. 総会議案について
9. その他

（午前の部）

1. 各局・部・委員会23年度事業報告

<事務局>

(1)総務部（中野部長）

- ・例年通り事業遂行できた。
- ・議事録の保管年数規程が設けられていないので検討の必要あり。
⇒誰もが閲覧できる状況にする。会議録は署名捺印が必要のため、増田事務局長が保管する。

(2)会員管理部（吉田部長）

- ・郵送事業に関して、委託業者をクロネコヤマトから佐川急便へ変更する話を進めている。厚さが2cmまでの郵便物は佐川急便で受けるが、超える郵便物は取り扱ってくれない。ニュース等の発送では2cmを超える可能性があり、対応に困っている。
⇒協会同様に個人発送するには費用がかかってしまう。対策は来年度計画に持ち越す。
- ・送付依頼後、発送までに時間がかかるため、郵便物は余裕をもって提出をして欲しい。
- ・慶弔事業に関して、県外への電報は行わなくなった。今年度、お祝い金を2件、3月に祝電1件を予定。

- ・新入会員で未入会者が数名いる。

(3)財務部（布上部長）

- ・予定通り実施できた。
- ・会費の徴収方法が変更され、未納者への支払請求は協会が行う。一旦、協会に支払われてから士会へ入金されるため、未納者数の把握が難しくなる。
- ・奈良マラソンメディカルサポート委員会の活動費は予備費から、パソコン購入は備品購入積立金から支出する。
- ・当該年度の決算は年度を越えないようにして欲しい。

(4)福利厚生部（細川部長）

- ・マラソン大会への参加申し込みは9名。
- ・障害保険会社に変更となり、管理が複雑化している。士会員に保険会社に変更となったことを通知していないため、次のニュースへ記載予定。

<社会局>

(5)医療保険部（江村部長）

- ・部会は3回まで開催している。
- ・会員への広報は2件追加されて3件となった。
- ・専従登録者はリハ室内でしか算定できないと指導された施設があるという話を聞いた。施設が特定されてしまう可能性が高いため、指導内容をどこまで公開して良いのかが不明。病院側は公表することを嫌がると思われる。この指導内容に関しては、文章指導が行われたのか確認する。

(6)介護保険部（櫻井部長）

- ・公開シンポジウムでは、他職種の参加者が多かった。
- ・アンケート調査は集計が済んでいるおり、結果をホームページに公開予定。会誌への掲載は情報量が多いため控える。介護保険の改定により、アンケート結果内容が古い情報となる可能性がある。

(7)社会福祉部（榮崎部長）

- ・自立支援法の見直しが来年の4月に見送られた。一部、保健所の住所変更や車椅子耐用年数が変更となった。

(8)理学療法啓発部（岡本部長）

- ・事業の中心はアンケート調査。結果はホームページに掲載予定。他士会では病院案内が士会ホームページとリンクしているので、この方法をとれないか検討したい。

- ・第20回公開講座で優秀川柳の発表を行う予定。

<学術局>

(9)生涯学習部（徳久部長）

- ・単位取得業務が来年度から協会管理となる。

(10)研修部（河村部長）

- ・研修会開催日程が、他部事業と重なったため今後はメーリングリストで日程調整を行なっていく。

(11)学術誌部（徳久部長代理）

- ・予定通り事業遂行できた。
- ・学術誌の発刊を早くすることは可能か。
⇒掲載記事の回収に時間がかかる。今後、検討していく。
- ・電子化に伴い、医中誌とメディカルオンラインからダウンロード代が3件入金された。

<広報局>

(12)ニュース編集部（栗本部長）

- ・士会外から掲載依頼が来ている。⇒有料である事を伝えたと断られる。
- ・表紙イラストの謝礼金を出すことが理事会で決定された。公開講座でイラスト展示を予定している。
- ・128号の発刊時、会員数が未確認であったため100部の増刷が必要となり発刊が遅れた。4月発刊分に関して、新人は未入会なので発行時点での会員数で発刊予定。

(13)会誌部（堀口部長）

- ・部会は4回行った。
- ・現在18号を編集集中。
- ・各部・委員会の活動報告を今後は経時的に掲載していく。
- ・発刊部数は17号で850部、18号は950部を予定。
- ・アンケートは24通の返信あり。会長の座談会が好評であった。今回は、副会長2名と理事2名に依頼予定。

(14)ホームページ管理部（松村広報局長）

- ・80件の更新を行なった。
- ・他部との連携を図るためカレンダー機能の付加していきたい。
- ・容量が不足してきている。
⇒公益法人化に伴い情報開示していく必要があるため容量は随意拡大していく。

<各委員会>

(15)第21回奈良県理学療法士学会準備委員会（堀内準備委員長）

- ・参加者は会員外で数名いた。演題募集には時間がかかった。

(16)第22回奈良県理学療法士学会準備委員会（岡本準備委員長）

- ・現在、会議を8回行なっている。
- ・国際福祉医療大学大学院の山本澄子先生に特別講演を依頼中。教育セミナーは白鳳女子短期大学の平木治朗先生に行って頂く。

- ・募集演題のほとんどがケーススタディであり、学術的研究が少ない。学会の位置づけは学会長が行うのか、士会が行うのか。

⇒県学会は全国学会に向けた登竜門となっているので、学術・研究的でないものも発表してもらう。そのため、ケーススタディが増えても良いのではないかな。

- ・教育セミナーの出席募集を行ったところ、他士会員から申し込みがあった。参加費用をどうするべきか。

⇒県士会員外の参加も可。県士会員外の実員数を設ける必要はなく、近畿ブロック会員の参加費は県士会員と同額とする。他士会員価格を設定する場合、県士会員価格の2～3倍とする。会員無料の研修会の場合には、類似した研修会の同程度の参加費を支払ってもらう。しかし、前例がないため無料で実施する際には相談をして欲しい。

- ・領収書が毎年残っている。

⇒学会長名、開催回なども変更されるので、新たなものを作成する。

(17)表彰審査委員会（堀口委員長）

- ・2月末から3月にかけて委員会開催予定。
- ・洗い出し作業を行う
- ・審査の報告は来月の理事会で行う。

(18)新人研修委員会（増田委員長）

- ・例年通り、3コースを開催。「訪問リハビリテーション」コースは現在開催中。
- ・「装具・車いす」コースの修了証発行が少ない。

(19)第19回公開講座準備委員会（尾崎会長）

- ・来場者数が少なかった。今後、広報の方法を検討していく。

(20)専門領域委員会（田平委員長）

- ・委員会は1回開催。
- ・県士会員に向けた研修会を行っている。当委員会は勉強会を後援するという形で始まったが、ポイント制が導入され、士会主催のほうがポイントの面で高くなったため、運営を当委員会が行い、本会が主催又は後援する形となった。
- ・県士会後援で研修会を実施する場合は、協会の基準が厳しく、ポイントが半減する。
- ・後援と主催の区別をつけずに参加している会員が多い。
- ・準備が間に合わない時など、ポイントはつかないが、研修会を開催することも今後あると思う

れる。

(21)ブロック活動推進委員会（吉田委員長代理）

- ・北和ブロックの演題数が多く、2日開催となった。
- ・ブロック運営に関する課題は特にない。
- ・来年度から新人発表が必須ではなくなる。

(22)選挙管理委員会（小川委員長）

- ・第18回定期総会にて理事選挙を行なった。

(23)理学療法講習会検討委員会（石橋委員長）

- ・9月4日に講習会が行われた。担当は奈良県であったが、主催が協会のため、収支は発生していない。来年度から公的委員会とし、派遣という形をとる。

(24)公益法人化推進委員会（増田委員長）

- ・県への相談会へ出席し、新定款を第5案まで提出した。現在、申請にあたり書類を作成中、総務課との打ち合わせを行なっていく予定。

(25)奈良マラソンメディカルサポート委員会（福本委員長）

- ・今年度から発足された。
- ・大会へは会員15名と理事3名が参加した。

(26)その他

- ・第20回公開講座準備委員会が動いているのであれば資料として掲載してはどうか。⇒廣池委員長より事業報告があり、平成24年6月3日（日）にいかるがホールにて開催予定。総会資料には事業報告を掲載する。

2. 各部・委員会24年度事業計画案

<事務局>

(1)総務部（中野部長）

- ・事業変更なく例年通り行う予定。

(2)会員管理部（吉田部長）

- ・4月より入会・移動手続きを協会ホームページにて個人で行うこととなったため、新入会員オリエンテーションは行わない。
- ・手続き方法のアナウンスは養成校が例年行なってくれているが、士会ホームページに掲載していくことも検討していく。
- ・会員と認められる時点をどう定めるべきか。
⇒会員証が手元に届いた時点をもって会員とみなす。

(3)財務部（布上部長）

- ・収支報告の方法について、税理士と相談予定。
- ・新入会員数により会計が変わってくる。初回支払いはコンビニ振込。その後、会員番号を入手し、カード発行手続きを行う。この手続きが面倒となり、新入会員数が減少する可能性がある。

- ・賛助会員の未納がある。富金原義肢は3年未納、その他未納が奈良義肢、川村義肢エイドセンターである。日本メディックスと酒井医療は、賛助会員を継続するか検討中である。

⇒3年未納となれば退会希望と捉えてはどうか。

(4)福利厚生部（細川部長）

- ・新入会員歓迎会は新入教育プログラムセミナー後に開催を予定している。

<社会局>

(5)医療保険部（江村部長）

- ・例年通りの事業に加え、情報交換会を行う。

(6)介護保険部（櫻井部長）

- ・情報交換会は医療保健部と合同で年度明けに行う予定。

- ・情報交換会は公益事業か共益事業か。

⇒講師に謝礼を出すのであれば、公益事業となる。

- ・平成24年度の診療報酬改訂の情報収集を行っていく。

(7)社会福祉部（榮崎部長）

- ・例年通りの事業内容である。
- ・来年4月の自立支援法改定に伴う情報収集と公開を行う。

(8)理学療法啓発部（岡本部長）

- ・アンケート項目を増やしていきたいので、意見が欲しい。
- ・事務局長が行っていた新聞広告掲載作業の管理・運営を来年度より当委員会で行なっていく。

<学術局>

(9)生涯学習部（徳久部長）

- ・新人教育プログラムの変更が行われる。新プロ手帳が廃止、IDカードでのポイント管理となり、インターネットで確認ができるようになる。単位取得数が15単位に変更され、5テーマが必須となる。また、年次制がなくなる。新プロ修了証の発行も協会が行う。新プロ研修は事前に開催登録が必要である。症例検討会等での発表義務はなくなる。これは今年4月に2年目となる先生も該当する。
- ・第1回研修会を6月17日（日）または24（日）に行う予定。研修会后、午後から新入会員歓迎会を開催予定。

(10)研修部（河村部長）

- ・例年通り行う予定。
- ・第1回研修会を6月10日（日）に開催することが決定。第2回は9月に開催予定。
- ・公益法人化に向けて、案内文の文言の変更が必要となる。また、研修会の事前登録及び、参

加申し込みを生涯学習部と連携して行なっていく。

(11)学術誌部（徳久部長代理）

- ・例年通り行う予定である。

<広報局>

(12)ニュース編集部（栗本部長）

- ・例年通り行う予定である。
- ・ニュースを今後PDF形式で掲載していく。

(13)会誌部（堀口部長）

- ・例年通り行う予定である。

(14)ホームページ管理部（松村広報局長）

- ・公益法人化と同時にホームページをリニューアルする予定である。
 - ・部員が部長のみである。
- ⇒増員するよう広報局長より話はしている。

<各委員会>

(15)第22回奈良県理学療法士学会準備委員会（岡本準備委員長）

- ・教育セミナーは50名定員で、現在20名の参加申し込みがきている。

(16)第23回奈良県理学療法士学会準備委員会（田平学会長）

- ・準備委員長は福本貴彦氏へ依頼し、承諾を頂いている。
- ・例年通り6月から7月に開催。会場は畿央大学で行う予定である。

(17)表彰審査委員会（堀口委員長）

- ・例年通り実施予定。

(18)新人研修委員会（増田委員長）

- ・例年通り、3コース開催予定。

(19)第20回公開講座準備委員会（廣池準備委員長）

- ・山田規畝子先生に講演を依頼している。身体機能も低下してきており、付き添い者（1名）が必要である。付き添い者の宿泊費も負担することは理事会にて決定した。
- ・士会ニュースの表紙イラストの展示を予定。栗本先生からご本人の許可をもらう。
- ・会員の出席者が少ないため、声かけを行なって欲しい。理学療法啓発部とも協力して広報を行っていく。
- ・予定していた子供太鼓は出席ができなくなった。

(20)専門領域委員会（田平委員長）

- ・今年度通り行う予定。
 - ・研修部と専門領域の研修会テーマが重複し、日程や講師決定が難しい。
- ⇒研修会が増えているので、研修部主催の研修会を減らしても良いと思われるので検討していく。

(21)ブロック活動推進委員会（吉田委員長代理）

- ・例年通り行う予定。若い士会員には症例発表を行うよう促していく。

(22)選挙管理委員会（小川委員長）

- ・公益法人となれば監事が3名になる。
 - ・これまで選挙定数を越えたことがないが、選挙を行うこととなった場合の実施方法を決定する必要がある。
- ⇒委任状での投票は記名投票となるため行えない。本会としては選挙管理委員会で決定した方法に従うこととする。

(23)理学療法講習会準備委員会（石橋委員長）

- ・7月21日（土）に開催予定。別演題にて12月15日（土）または16（日）にも開催を予定している。

(24)公益法人化推進委員会（増田委員長）

- ・申請作業を行っていく。夏に申請書類を提出予定。来年4月1日付けの移行を予定している。

(25)奈良マラソンメディカルサポート委員会（福本委員長）

- ・今年度と同様に行う。委員会メンバーに4名が決定した。
- ・実働は県議会がマラソン開催を決定してからなので4月以降となる。

(26)その他

- ・法人設立20周年記念事業準備委員会（西田委員長）
- ⇒平成25年度開催予定。来年度より活動を開始する。

（午後の部）

3. 23年度決算報告・現状（布上財務部長）

- ・ほぼ予算通り執行されている。奈良マラソンメディカルサポート委員会においては事業費として約16万円増。会員管理システム専用パソコンと総務部のパソコンの購入に関しては、備品購入積立金から支出する。研究活動援助積立金は一般会計に入れた。来月から税理士と決算の書類を作成する作業に入る予定。

4. 24年度予算報告（布上財務部長）

- ・公益目的事業会計が720万円、その他の会計が65万円、法人会計が468万円で収支予算書を立てており、今のところ、公益目的事業会計は約58%で達成できている。
- ⇒公益目的事業会計は60%越えを目標とする。
- 来月、予算立てについて税理士と相談し、意見を聞いてから予算立ての確定を行う。
- ・賛助会員の現状として、酒井医療が2年間の未納となっている。不景気の影響から医療関係5

社で賛助会員の会費納入について見直すこととなり、平成21年度から各都道府県には会費を納入せず、日本理学療法士協会への会費のみ納入する運びとなった。酒井医療としては、賛助会員という形でなくても、本会との関わりをもち、現状のサービスを受けたいとの意向がある。よって、賛助会員会費の形ではなく、広告費という形で今後、2万円を支払いたいとの申し出があった。また、未納分に関してはどんな形であっても支払うことを約束している。

⇒広告費として2万円納入してもらい、ニュースに年4回、5千円の広告を出すことは問題ない。しかし、賛助会員ではないため、名簿配布等の賛助会員サービスは提供しないこととする。賛助会員のサービスを受けたいのであれば、酒井医療の職員個人が賛助会員に入る案を酒井医療に提案する。2年以上未納となっている日本メディックスと富金原義肢製作所に関しては、会費未納退会処理の通知を行う。

5. 24年度予算案審議（布上財務部長）

- ・専門領域委員会の来年度予算に関して、理事会で検討した結果、従来通り研修部扱いとして予算立てを行わず、来年度からは勉強会開催にあたり、本会から定額援助金（3万円）を出して、各勉強会側で会計管理を行ってもらうことが決められた。ただし、源泉徴収に関しては本会で処理し、赤字が出た場合の補填は理事会で検討する。以上の点をふまえ、専門領域委員会申し合わせ事項を修正する。
- ・理学療法講習会準備委員会は公的委員会の派遣事業とする。よって、本会では予算立てを行わない。
⇒理学療法講習会準備委員会の解散が理事会にて決定された。
- ・記念事業準備委員会の正式名称については、法人設立20周年記念事業準備委員会とすることが決められた。
- ・第21回公開講座準備委員会については、委員長をまだ選任していない。よって、予算に関しては、第20回の平成23年度予算と同じ予算額を立てておく。
- ・備品の管理について、各局・部・委員会の備品を公益目的事業会計か法人会計かに分ける必要がある。
⇒MLにて、各局・部・委員会へ備品リストの提出を依頼する。

6. 会長行動報告（尾崎会長）

- 1／18 広報局会議
- ／23 新人研修委員会
- ／27 理学療法啓発部会
- ／28 都道府県理学療法士会会長会
- ／31 財務部会
- 2／3 厚生部 PT・OT・STボウリング大会
- ／5 リハ3団体合同 訪問リハ実務者研修会（一日目）
- ／5 吸引に関する講習会
- ／6 調整会議
- ／8 第52回近畿理学療法学会 第7回準備委員会
- ／10 理学療法啓発部会
- ／14 協会包括的会員管理システム対応会議
- ／19 拡大理事会 定例理事会 第10回

7. 会員異動承認

平成24年1月15日から2月19日までの会員異動が理事全員に承認された。

8. 総会議案について（尾崎会長）

- 第1号議案 平成23年度事業・決算及び監査報告の承認に関する件
- 第2号議案 平成24年度事業計画・予算案の承認に関する件
- 第3号議案 その他（一般質疑・要望）

9. その他

- (1)日本医療マネジメント学会について（石橋理事）
 - ・2／4（土）に日本医療マネジメント学会奈良支部の理事会と第7回学術集会が開催され、石橋理事が出席。第7回学術集会の内容について報告があり、参加者は370名であった。現在、日本医療マネジメント学会奈良支部は43名の理事で運用されている。
 - ・第8回学術集会は平成25年2月の第1土曜日に開催予定。担当は奈良医療センターとなる。第9回学術集会も平成26年2月の第1土曜日に開催予定。担当は高田市立病院となる。
- (2)奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会について（西田理事）
 - ・2／4（土）に青丹学園で開催され、西田理事が出席。参加者の半分は学生であった。講演と患者様を交えたディスカッションが実施された。3／27に準備委員会と反省会を実施する予定。
- (3)山口衆議院議員の後援会について（西田理事）
 - ・近畿学会の当日に県監事及び事務担当者会議が

あり、尾崎会長と西田理事が出席。会議では、連盟で活動するよりも、後援会という形で活動していき、全国規模へ展開していきたいという方針が示された。活動マニュアルは用意されている。活動として、山口議員を学会や研修会に招き、翌日に各院所を回っていただく。組織図については、奈良県で案を作り、協力を依頼していく。

(4)連盟の総会、研修会について（増田理事）

- ・山口和之君を囲む会の前に、連盟の総会、研修会が開催され、案内が来ている。本会でパーティー券を購入したが、出席はしないこととする。

(5)奈良県生活習慣病予防対策推進委員会について（石橋理事）

- ・今年度末で解散するという文書がきた。来年度からは健康増進推進委員会（仮）へ名称が変わ

り、事業展開される予定。詳細は次回の理事会にて報告する。

(6)専門領域委員会（田平理事）

- ・各勉強会の日程調整のため、各代表者に役員のメーリングリストに登録してもらおうと、うまく機能すると思われる。

⇒各代表者にメーリングリストへ登録してもらうことが決められた。

(7)広報局（松村理事）

- ・HPへの掲載依頼については、HP上に掲載申し込み用のフォームを作り、必要事項と原文のリンク先を記入してもらい、審議する方向で検討していく。
- ・専門領域勉強会の会員募集に関する案内をHP上に掲載することを検討する。

以上

平成24年度第1回定例理事会議事録

日 時：平成24年4月14日（土） 15：00～18：40

場 所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事 尾崎、石橋、増田、佐藤、松村、西田、田平、中村

監 事：中俣

議事録署名人：松村、西田

委任状：廣池、中西

書 記：中野

- 議 事：1. 関西福祉科学大学 大学院設立について
2. 会長行動報告
3. 会員異動承認
4. 各局・部・委員会報告
5. 協会法人化パーティーについて
6. 研修会等参加費について
7. その他

1. 関西福祉科学大学 大学院設立について（尾崎会長）

- ・関西福祉科学大学の大学院設立について、渡辺保健医療学部長と中俣 恵美先生より説明があり、理事会にて承認された。本会から大学院設立に対する要望書を提出することとなった。

2. 会長行動報告（尾崎会長）

- 3／19 田野瀬衆議院議員秘書、太田氏来訪
- ／20 大阪城リレーマラソン2012
- ／23 研修会 第4回
- 4／1 自民党奈良県連 「絆と結束の集い」

／2 調整会議

／3 畿央大学 入学式

／5 公益法人化推進委員会 申請書類班

／8 白鳳女子短期大学 入学式、学校法人西大和学園 観桜会

／10 奈良リハビリテーション専門学校 入学式

／10 関西学研医療福祉学院 入学式（代理：石橋）

／11 医療・介護保険部の合同情報交換会

／14 定例理事会 第1回

3. 会員異動承認

平成24年3月18日から4月14日までの会員異動に関し、新しい会員管理システムの導入に伴い、不確定要素が多いため、今回は新入会員の承認は行わない。5月の理事会にて承認を行う。

4. 各局・部・委員会報告

(1)包括的会員管理システム（増田理事）

- ・会員管理に関しては、県内異動の情報が送られてこない等の問題点が出ている。

⇒問題点を挙げ、本会から要望書を協会へ提出する。

- ・入会の際、郵送物送り先を自宅登録にしている会員が多い。協会は個別発送であるが、士会は施設発送となるので、郵送物が施設に届くことに疑問を抱く会員が出てくるのではないかと。

⇒問い合わせがあれば、士会の郵送物は施設へまとめて郵送している旨を説明する。

- ・例年、新入会員は総会終了後の理事会にて承認を行っていたが、今回の理事会で10名の新入会員承認が挙げられている。また、新入会員を総会の正会員とすべきか。

⇒新しい会員管理システムの導入に伴い、不確定要素が多いため、4月の理事会では新入会員承認は行わず、異動報告のみ行うようにする。新入会員の承認は5月に実施する。新入会員は承認されるまで、総会の出席及び議決権はないが、会員サービスは届けがきた時点で提供する。

- ・生涯学習システムに関して、研修会の登録フォーム記入や参加者のシステム登録、カードリーダーでの受付作業等の手続きが繁雑である。システムを熟知してもらう場を設ける必要がある。

⇒生涯学習部と研修部で運営を試み、運営の中で生じた問題点や改善案を提示してもらう。近畿学会までにはシステムを熟知できるようにする。

(2) 郵送事業について (増田理事)

- ・去年度は約30回の郵送業務を会員管理部(大和橿原病院)にて行っており、部員(病院スタッフ)に大きな負担となっている。郵送作業に関して早急な対応が必要である。

理事会で検討した結果、以下の緊急対応策が決定された。

①印刷を業者に依頼している郵送物は郵送までを印刷業者に依頼する。

②コピーなどの郵送物は、各部、各委員会で郵送作業もする。

①と②の場合、封筒やタックシールに関しては、会員管理部と調整する。

③近畿学会など、外部からの郵送物は会員管理部で作業する。

- ・本会の長期的展望として、研修会等の情報発信に関してはホームページを基本として、ペーパーレス化を検討していく。メルマガの活用については、事務局と広報局で検討していく。

(3) ホームページ管理部 (松村理事)

- ・士会以外の研修会の案内に関しては、HPの新着情報で案内のリンクを掲載し、募集期間が過ぎた時点でリンクを外す対応とする。また、HP上で士会開催の研修会と士会以外が開催する研修会をグレード分けすることを検討する。

(4) 介護保険部 (中村理事)

- ・6/1にかしはら万葉ホールで介護保険部の勉強会を開催することが決定した。

強会を開催することが決定した。

テーマ：認知症高齢者とのコミュニケーション

(5) 奈良県高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 (西田理事)

- ・3/27に反省会と次年度に向けての講習会の予定が話し合われた。次回の講習会は秋頃を予定している。

(6) 専門領域委員会 (田平・佐藤・石橋理事)

- ・野球肘検診開催に伴う協賛依頼について、理事会で金銭的及び人的な支援を行うかどうか検討された。

⇒主催となる団体や目的等が不明確である。士会としては、主催となる団体と目的をしっかりと出してもらい、人員及び協賛金に関して正式に依頼してもらわないと協賛できない。正式な依頼書が届けば、金銭的及び人的支援に関して検討する。人的支援に関して、HP上でボランティアを募り、参加してもらうことは認める。

(7) 社会局 (佐藤理事)

- ・4/11に医療・介護保険部の合同情報交換会が無事終了した。医療保険に関しては江村部長が説明し、介護保険に関しては櫻井部長が説明され、その後に質疑応答を1時間程度行った。若い会員の参加も目立ち、解釈に対する質疑が多かった。

(8) 公開講座準備委員会 (代理：中野準備委員)

- ・4/10にポスター・チラシの印刷依頼が済み、来週中に会員へ発送予定。
- ・今のところ会員以外の広報として、奈良県OT・ST士会、脳外傷友の会、桜の会へチラシ・ポスターを配送予定としている。その他、適当な団体はあるか。

⇒ケアマネ協会と高次脳機能支援センターに配送する。

- ・タイムテーブルができ次第、役員MLにて報告する。
- ・3/18に京都で開催された山田先生の講演に廣池理事が出席。山田先生の講演状況や質問に対する返答方法、身体状況について報告された。
- ・イラスト展示については、作者が保存されている額入りの原画を展示予定。運搬方法はリハセンの栗本先生と調整中である。

(9) 総務部 (中野部長)

- ・総会資料に関して、財務資料の仕上がりが遅くなると思われ、総会15日前までの総会資料の発送は困難かと思われる。まずは総会案内と委任状を来週中に会員へ発送したい。現在、会員管理部と調整中である。

⇒会員への総会資料の配布は、総会の開催日直前となることが予想される。今年度は総会資料の配布が遅れることに配慮して、随時、完成分をPDF化し、HPに掲載していく。

5. 協会法人化パーティーについて（尾崎会長）

- ・ 6 / 8 に協会法人化パーティーが開催され、尾崎代議員と増田代議員が出席。交通費と宿泊費は協会より支給されると思われるが、宿泊費が支給されない場合は、本会より支給することが決められた。

6. 研修会等参加費について（尾崎会長）

- ・ 研修会参加費用は、公益法人化を踏まえ、会員価格に対して非会員価格は3～4倍で設定し、会員500円の場合は非会員2,000円、会員1,000円の場合は非会員4,000円ぐらいの設定で良いか。
⇒この価格で実施し、県から指導が出れば、非会員価格を見直す。
- ・ 「会員証は忘れたが、楽天カードは提示された」というような場合は非会員の参加費用になるが、明らかに顔見知りで、会員と分かっているも非会員料金を徴収するのか。
⇒今年度は明らかに顔見知りである場合や同僚が会員と保証してくれる場合は会員価格で徴

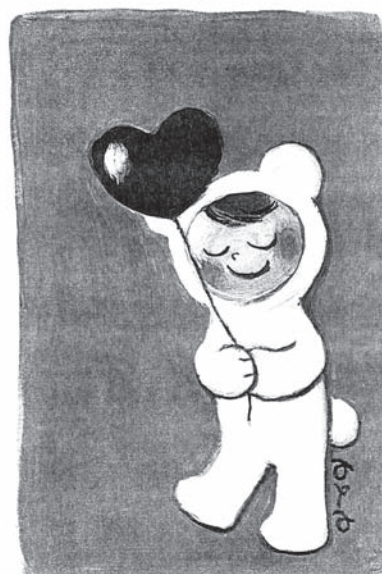
収する。

- ・ 平成23年度までは非会員意以外に「他職種」という費用設定もしていたが、24年度からは他職種も非会員として扱ってもよいのか。
⇒24年度からは他職種も非会員として扱う。

7. その他

- (1) 山口衆議院議員の全国後援会について（西田理事）
 - ・ 以下の活動内容について西田理事より説明があった。
 - ① 組織を作って会員を集め、定期報告する。
 - ② 山口議員を招へいし、各院所へ挨拶回りしていただく。
 - ・ 組織図と年間活動表を作成して、活動していく。山口議員から示された奈良県の目標は1160名の募集。本会としては1282名の募集を目標とする。
- (2) 法人設立20周年記念事業について（西田理事）
 - ・ 開催日程は平成25年の秋頃とする。
- (3) 義援金について（尾崎会長）
 - ・ 昨年度一年間で集めた義援金29,182円をどこに送るか。
⇒再度、送り先に関して検討する。

以上



賛助会員一覧

(株) 日本メディックス	564-0044	吹田市南金田町 2-12-18	06-6369-1201
(株) 富金原義肢製作所	571-0039	門真市速見町 2101	06-6909-6528
(有) カンサイ義肢	571-0048	門真市新橋町 29-1	06-6908-0911
(有) ウィンド	630-0211	生駒市桜ヶ丘 5-29	0743-75-3887
(株) 奈良義肢	630-8435	奈良市西九条 3-2-23	0742-62-7979
奈良ニッセイエデンの園	636-0071	北葛城郡河合町高塚台 1-8-1	0745-33-2222
(株) イカリトンボ、ケアホープ	636-0154	生駒郡斑鳩町竜田西 4-1-40	0745-75-2028
テクノブレース	636-0247	磯城郡田原本町阪手 13-7	07443-2-5893
(株) 川村義肢エイドセンター奈良	636-0343	磯城郡田原本町大字秦庄 432-15	07443-2-8891
ツザキ・ケア・ブレイス	636-0347	磯城郡田原本町新木 1-141	07443-3-3678
(株) 大床義肢	639-1045	大和郡山市小林町西 1-4-7	0743-56-8944
山一株式会社	550-0001	大阪市西区土佐堀 1-4-11 金鳥土佐堀ビル 5 階	06-6447-5924

会員数・施設数動向

平成24年 6 月25日現在

	施設数	会員数
病 院	63	655
診療所・医院	12	16
老健・特養・デイサービス	41	74
訪問看護ステーション	11	25
市 町 村	2	2
P T 養成校	4	31
自 宅 会 員	・ ・ ・ ・ ・	78
総 施 設 数	※ 133 施設	
総 会 員 数	881 名	

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

理学療法士募集（嘱託職員）

給 与 経験5年未満 219,000円 経験5年以上 254,200円
通勤手当・超過勤務手当あり 6月及び12月特別報酬あり
勤務時間 8:30～17:15（休憩時間60分含む） 土・日・祝休み
福 利 雇用・労災・健康・厚生年金加入 有給休暇・夏期休暇あり
当院入院患者さんへの院内でのリハビリテーション
見学歓迎 詳細はお問い合わせください（総務課庶務経理係まで）

奈良県立三室病院

〒636-0802 奈良県生駒郡三郷町三室1-14-16 TEL 0745-32-0505

生駒市承認：地域密着型小規模多機能事業所オープン!! 訪問&リハセンター：理学療法士・作業療法士募集

“急性期から在宅へ”コンセプトは『Re:日常』在宅リハと施設リハの連携・融合を目指して
4月1日「リハビリ特化」地域密着型小規模多機能事業所【いこいの家 26】を開設しました

在宅に興味はあるが怖くて踏み切れない人も、志があれば大丈夫です。コミュニケーションや
リスク管理が出来るまではリハセンターで経験を積んで、自信が出来てから在宅へ進めます。

★各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい

いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川

〒630-0243 奈良県生駒市俵口町8-14番地1 ハイネス生駒302号

TEL: 0743-70-8300 e-mail: ikoi@kcn.jp http://lifecarejp.com/

施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中

